

本学英語教育/学習環境の推移をふりかえる

英米学科 宮浦 国江

実のところ、本年度「英語部門活動報告」として寄稿することに躊躇いを覚えていた。外国語学部のグローバル人材育成推進事業が始まって以来、iCoToBa（多言語学習支援センター）に英語学習についても活動を集約させてきており、報告者がセンター長を退き本学勤務最終年ということもあり、特に報告することはないと思われたからである。ただ、去るにあたり『ことばの世界』第1号(2008年度末)から読み返してみると、この8年間に本学英語教育/学習環境が大きく変化してきたことを改めて実感し、同時に、高等言語教育研究所の閉所とともに積み上げてきたものの一部が消えてしまうのではないかと、この間の推移を振り返ることとする。

1. 教養教育英語教育の充実

(1) 教養英語教育

- ・ H21年度からの新大学発足にあわせて、習熟度別クラス設定、CASEC 英語統一テストによる英語力把握(クラス分け及び「英語 B」の成績評価組込み)、外国語学部と他4学部の別曜日開講、週2回の英語クラスの特徴づけ(A: English for Academic Studies, B: English for Interaction)など、全学英語教育体制と呼べる体制ができた。
- ・ H25教養教育センター設立に伴い、各外国語はI、IIまでを基本とする中、英語に関しては従来の「英語 III」に対応するような「World News (Listening Comprehension)」「Issues of Our Times (Discussion)」「Introducing Japan (Presentation)」「Expressing Your Ideas (Writing and Speaking)」とテーマとスキルが明確な半期1単位科目を4科目用意した。H28からいよいよ開講される。学生がどのような学びを展開するか楽しみである。
- ・ 昨年度も報告したように、H26から教養教育センターにネイティブ教員4名が所属し、教養英語教育の強力な推進役となったことは特筆すべき進化である。

| | 全学/教養英語クラス数(「英語 I」「英語 II」「英語 III」) | うち、ネイティブ教員担当クラス数 | ネイティブ教員担当率 |
|-----------|------------------------------------|------------------|------------|
| 平成 25 年度 | 146 | 22 | 15% |
| 平成 26 年度～ | 156 | 95 | 61% |

学生がネイティブ教員から直接学ぶ機会が増えただけでなく、4名+教養教育センターが日常的に情報共有、意見交換しており、graded readers の virtual library を活用するなど新たな取り組みにも積極的に対応できるようになった。

(2) CASEC 英語統一テスト

- ・ CASEC は H23 以降、新入生 4 月(「英語 I」クラス分け)、1 月(「英語 IB」成績評価の 30%、「英語 II」クラス分け)、2 年生 1 月(「英語 IIB」成績評価の 30%、到達度測定)の利用が定着している。実施は学務課の全面的協力のもと順調である。毎年『ことばの世界』に CASEC 得点を公表し、特定の目的で学生の CASEC 得点を参照したい時の申請書も整備された。ただ、これ

まで同一受験者集団の成績推移については公表してこなかった。参考までに以下の表を付す。

CASEC 得点推移 (2009 入学生から 2015 入学生)

| | 2009 入学 | 2010 入学 | | | | 2011 入学 | | | 2012 入学 | | | 2013 入学 | | | 2014 入学 | | 2015 入学 |
|-------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|---------|
| | 2011.1 | 2010.4 | 2010.7 | 2011.1 | 2012.1 | 2011.4 | 2012.1 | 2013.1 | 2012.4 | 2013.1 | 2014.1 | 2013.4 | 2014.1 | 2015.1 | 2014.4 | 2015.1 | 2015.4 |
| 英米 | 663 | 643 | | 657 | 686 | 637 | 659 | 667 | 647 | 654 | 668 | 643 | 678 | 683 | 652 | 677 | 657 |
| フランス | 624 | 611 | 613 | 612 | 612 | 599 | 606 | 612 | 607 | 615 | 630 | 607 | 614 | 622 | 609 | 620 | 629 |
| スペイン | 621 | 634 | 629 | 630 | 622 | 622 | 607 | 607 | 618 | 595 | 650 | 617 | 627 | 626 | 631 | 629 | 645 |
| ドイツ | 621 | 603 | 614 | 606 | 646 | 606 | 638 | 626 | 595 | 625 | 614 | 618 | 605 | 629 | 601 | 617 | 609 |
| 中国 | 604 | 595 | 603 | 594 | 603 | 614 | 620 | 620 | 601 | 600 | 600 | 601 | 593 | 603 | 595 | 608 | 596 |
| 国際関係 | 674 | 609 | | 637 | 645 | 622 | 644 | 642 | 618 | 634 | 637 | 629 | 649 | 652 | 622 | 643 | 646 |
| 国語国文学 | 589 | 576 | 576 | 576 | 583 | 573 | 570 | 576 | 566 | 563 | 554 | 558 | 560 | 570 | 557 | 567 | 556 |
| 歴史文化 | 570 | 568 | 581 | 575 | 570 | 548 | 567 | 571 | 537 | 555 | 564 | 550 | 547 | 550 | 554 | 572 | 562 |
| 教育発達 | 582 | 579 | 589 | 568 | 580 | 566 | 567 | 567 | 553 | 561 | 552 | 558 | 561 | 560 | 566 | 553 | 576 |
| 社会福祉 | 566 | 558 | 568 | 566 | 553 | 550 | 549 | 569 | 546 | 553 | 552 | 564 | 559 | 556 | 559 | 560 | 546 |
| 看護 | | 547 | 559 | 553 | | 541 | 549 | | 535 | 537 | | 539 | 535 | | 530 | 538 | 530 |
| 情報科学 | 505 | 488 | 503 | 517 | 500 | 479 | 493 | 496 | 473 | 502 | 506 | 481 | 496 | 503 | 484 | 507 | 479 |

あくまで平均点であり、年度による変動もあるが、およその傾向は見える。当然とはいえ、英米学科、国際関係学科のように専攻言語が英語の学科での 2 年間の伸びは大きく、他学科の伸びはゆるやかで中には入学時とほぼ同程度維持や微減のところもある。ただ、最近では上昇傾向にある。英語力がグローバル時代の必要なスキルと認識されるようになってきているのかもしれない。情報科学部は入学時得点は他より低い毎年入学生は 2 年間で着実な上昇を示している。学部教育の中で英語論文からの情報収集や海外学会発表など英語力の必要性が意識されていることが学生のモチベーションに繋がっていると思われる。

- ・今後、学生の専門教育との関係において、また社会人基礎力として、英語学習のモチベーションを自覚的に高めることが必要であろう。
- ・本稿末尾に、今年度開示した平成 26 年度 1 月期、27 年度 4 月期の統一テストの結果を載せる。

(3) 教養・グローバル科目として

- ・H19 からスタートした「英語連続セミナー」は 9 年目、H26 新教養教育科目として始まった「Japan Seen from Outside」は 2 年目となった。教養科目の中に 2 つの英語で行われる科目があり、受講生も多く、活発な活動がなされていることは大学として好ましいことであろう。
- ・「グローバルな視野とコミュニケーションのための英語連続セミナー IX」は、今年も学内外の協力を得て多様な分野からゲストスピーカーを迎えることができ、順調に実施された。履修登録者が 100 名弱であったが、履修登録せず聴講する学生(過去に履修した学生等)や教員も一定数いた。プログラムは以下の通りである。

| | Date | Lecturer | Title of the Talk |
|----|-------|---|---|
| 1 | 10/5 | Coordinators | Introduction |
| 2 | 10/12 | Nahid Nikzad (NHK World Radio Japan, Persian Section Announcer) | Persian Poetry through the Ages and Its Influence on Persian Music |
| 3 | 10/19 | Stephen G. Kovacsics (在名古屋米国領事館首席領事) | An American's view of Japan |
| 4 | 10/26 | Robert Juppe (筑波学院大学教授) | The American Joke: Understanding Western Humor |
| 5 | 11/2 | Manuel Medina González (教育測定研究所) | Thoughts of a Mexican in Japan |
| 6 | 11/9 | 長田弘己 (中日新聞編集局社会部) | It's What I Do: A Newspaper Correspondent in New York |
| 7 | 11/16 | Chris Wyle (崇城大学 SILC 上級講師) | Ichi Go Ichi E - One Chance, One Encounter - Remembering the 2004 Tsunami |
| 8 | 11/23 | 吉田ふゆみ (スイスポートジャパン株式会社) | From Homemaker to Translator: Never Too Late to Change Yourself |
| 9 | 11/30 | Sonja Dale (上智大学他非常勤講師) | Introducing X-Gender - Gender and Identity in Contemporary Japan |
| 10 | 12/7 | 三須茉莉子 (ドリームスカイ名古屋空港サービス部) | Cross-cultural Understanding and Human Communication |
| 11 | 12/14 | 牧 寛子 (文部科学省教科書調査官) | How I Changed My Teaching Style and What I Did for My Students |
| 12 | 12/24 | 加藤美貴子 (通訳・通訳案内士) | Working as an Interpreter & a Multilingual Tour Guide |
| 13 | 1/4 | 手島 良 (武蔵高等学校中学校教諭) | A Way to Improve Your Pronunciation of English |
| 14 | 1/18 | 木村真樹子 (国際協力機構 JICA 中部) | JICA and International Cooperation |
| 15 | 1/25 | Coordinators | Discussion |

- ・今年度はペルシャ音楽の実演、X-Gender の話題等初めてのことや、新聞記者海外特派員、空港業務、通訳、JICA 等英語を活かす仕事の数々について聞く機会を得た。名古屋アメリカ領事館、英語教育分野など再登場頂いた講師は 3 名であった。今回もゲスト陣のうち、3 名が本学卒業生であった。キャリア教育としての機能も着実に果たしている。
- ・今年度も、毎回学生からの積極的な質問が相次いだ。1、2 年目の静まりがちだった頃とは隔世の感がある。エッセイにも真摯な聴講態度が反映されており、深く受けとめている様子が窺えた。このような学生の姿勢が、ゲストスピーカーに高く評価されている。ベストエッセイの

Web 公開とも相まってゲストスピーカーが依頼に対して快諾してくださるケースがほとんどである。

2. カリキュラム外

(1) iCoToBa のにぎわい

・ H24 秋のグローバル人材育成推進事業採択に伴い、H24 末に開設された iCoToBa は、報告者が H19 から学内設置を希望してきた ENGLISH SPACE (英語関係の図書や視聴覚教材等を備え、英語のみで多様な活動を展開する空間)が、他言語も含めて実現した空間であった。関係する諸先生のご尽力により 3 年目の今年は、いつ見ても学生で賑わい、さまざまな活動が展開されていた。次々年度以降の財源確保が危惧されているが、この貴重な空間を大学の共有財産として、いつまでも活発な英語学習と交流の場として機能させていってほしい。

(2) 図書館の多読用図書コーナーの充実

既に述べた通り、教養英語担当ネイティブ教員が多読を積極的に授業に取り入れ、学生たちに読書を促している。現在、図書館の洋書貸出冊数の 95%は多読用図書というまでに多読用図書がコンスタントに利用されている。

・ 今後、教養英語を中心に本学の多読用図書読書到達目標を確立し、学生の英語読書習慣の定着と、英語学習全般の深化を促進していってほしい。

(3) レシテーションコンテスト (本所報の当該報告参照)

・ H21 に第一回開催のレシテーション大会は、毎年学生の熱心な努力と関係教員の尽力に支えられ、外国語学部の行事として定着した。今年度は、個人的には、英米学科 1 年生グループが早口言葉に挑戦した This is the House That Jack Built の楽しさが観客に伝わり最優秀賞に輝いたことが良い思い出となった。

・ 高等言語教育研究所閉所とともに次年度以降の実施が議論されたが、外国語学部教育成果の可視化であり、外部へのアピールともなるレシテーション大会を外国語学部の財産として今後とも持続させていくことを強く希望する。

3. 今後の課題

・ 第二期中期計画の中で、教養教育英語ネイティブ教員 4 名の雇用が実現し、上述の通り、本学教養英語は充実してきた。今後の最も大きな課題は、この教養英語の、専門性が高く教育実践力に優れたネイティブ教員 4 名枠を第三期中期計画でも継続していくことである。そのためには定量的・定性的調査結果をもって教育効果が上がっていることを明確に示すことが必要となろう。前進したものを後退させてはならない。

・ 既に何回か指摘している通り、平成 29 年度以降を見据えれば、グローバル人材育成推進事業による外国語学部生を主対象としたさまざまな取組と、教養教育センターによる全学部学生を対象にした英語教育の体系化を連携させ、貴重なリソースを活かしつつ iCoToBa を本学の外国語学習支援の基地として機能させることが重要であろう。学生目線で考えれば、外国語の力をもっと付けたいと思ったら、授業にしっかり取り組むことと、iCoToBa に出向く、というシンプルな形が良い。教養英語では、学生がパソコン、タブレット型 PC、スマートフォンでも多読用図書が読めるバーチャル図書館の利用と、全学生に多読用図書の 2 年生終了時までの到達目標の設定を一つの軸に一層の体系化を図ってほしい。

- ・ 英語教育成果の可視化としてのレシテーション大会の継続とともに、ライティング力の低下が懸念される昨今、英文エッセイコンテストのようなものを考えるのも良いことであろう。選考で優秀作品に選ばれたエッセイの作者は、ファイナリストとして会場でエッセイ朗読をするというのはどうであろう。
- ・ 外国語学部の一層の発展と全学的英語学習/教育の充実を願うものである。

資料 1: 平成 27 年 1 月 1 年生英語統一テスト 結果

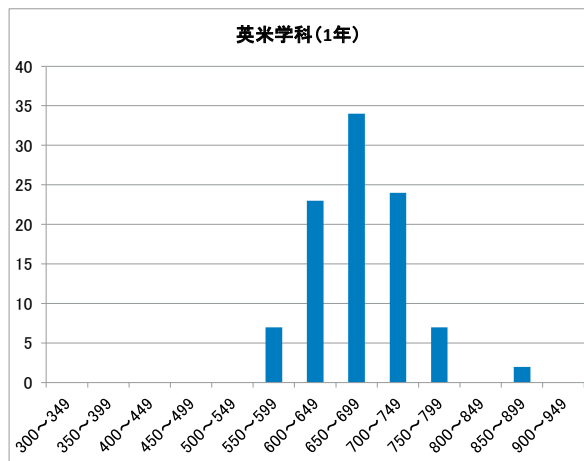
資料 2: 平成 27 年 1 月 2 年生英語統一テスト 結果

資料 3: 平成 27 年 4 月 1 年生英語統一テスト 結果

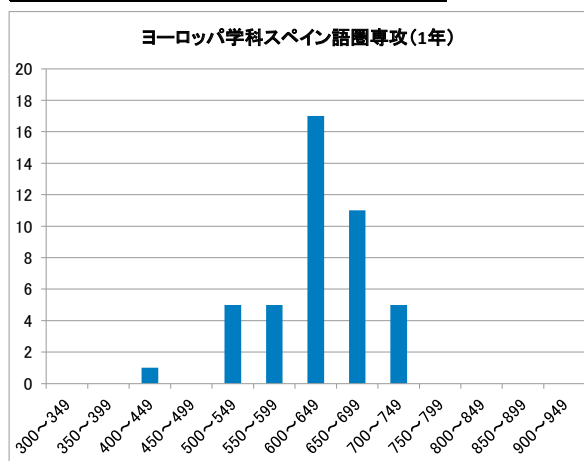
〔資料 1〕 平成 27 年 1 月 1 年生英語統一テスト 結果

■愛知県立大学 2015 年 1 月実施（1 年生）

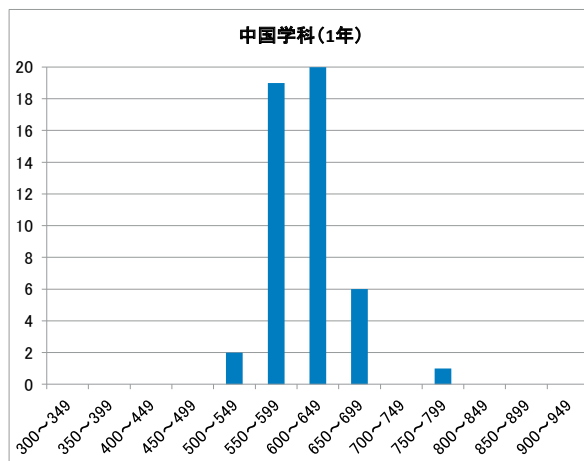
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 英米学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 97名 |
| 平均点 | 677.0点 |
| 最高点 | 890点 |



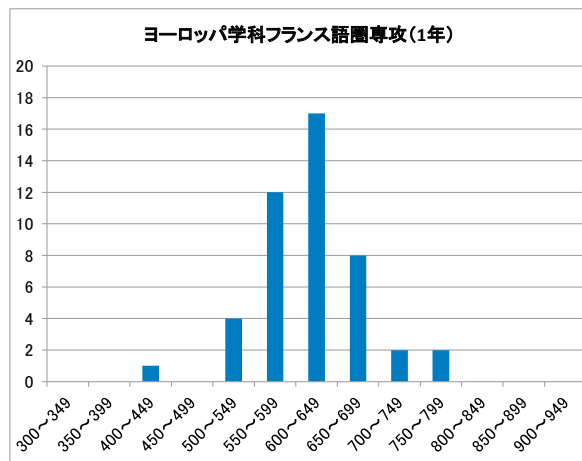
| | |
|-------|-----------------|
| 受験対象者 | ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 44名 |
| 平均点 | 628.8点 |
| 最高点 | 745点 |



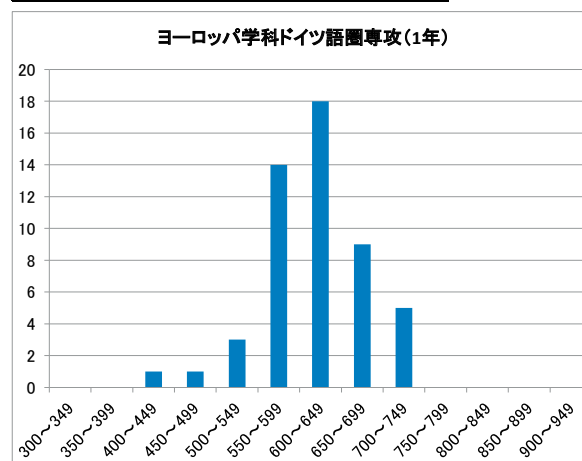
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 中国学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 48名 |
| 平均点 | 607.9点 |
| 最高点 | 750点 |



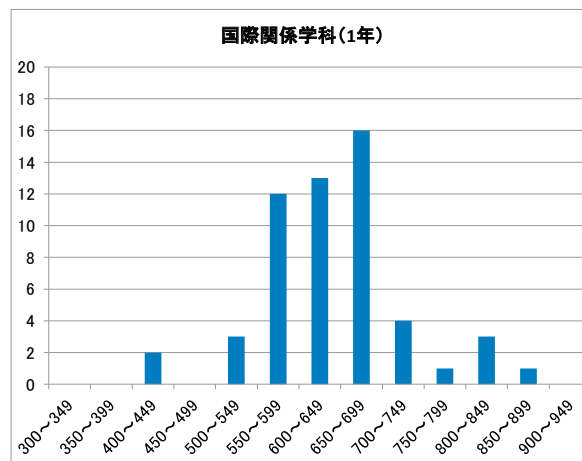
| | |
|-------|-----------------|
| 受験対象者 | ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 46名 |
| 平均点 | 620.0点 |
| 最高点 | 795点 |



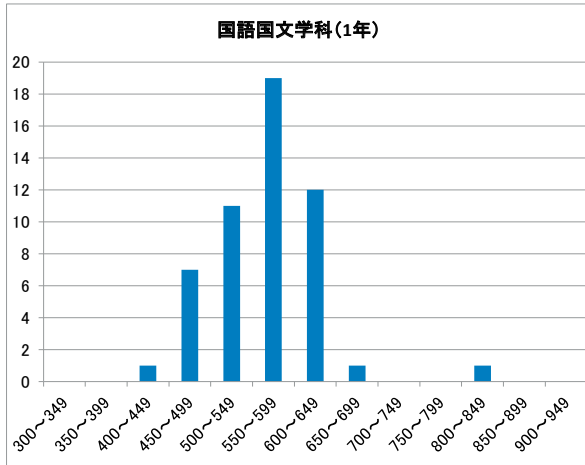
| | |
|-------|----------------|
| 受験対象者 | ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 51名 |
| 平均点 | 616.9点 |
| 最高点 | 732点 |



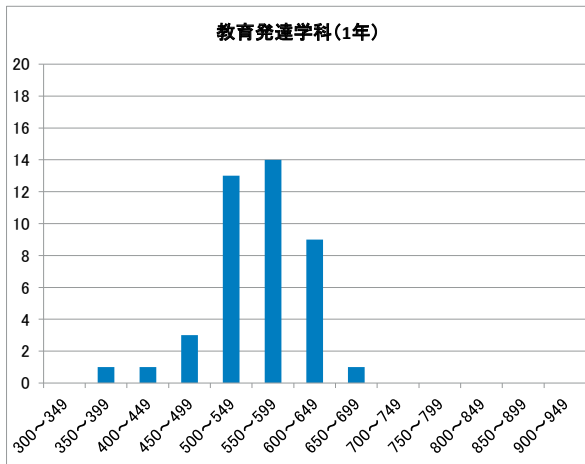
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 国際関係学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 55名 |
| 平均点 | 643.0点 |
| 最高点 | 892点 |



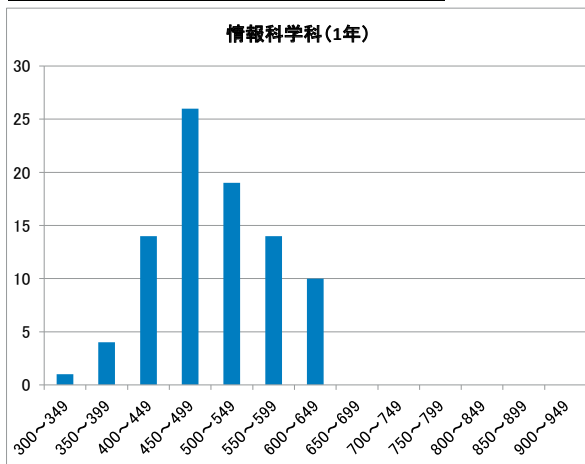
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 国語国文学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 52名 |
| 平均点 | 567.3点 |
| 最高点 | 833点 |



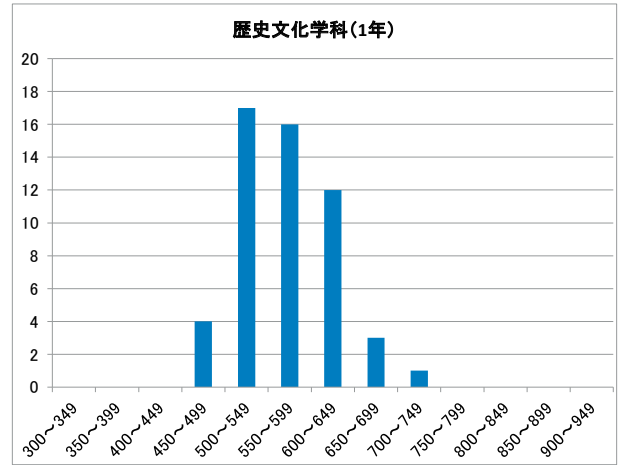
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 教育発達学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 42名 |
| 平均点 | 552.7点 |
| 最高点 | 674点 |



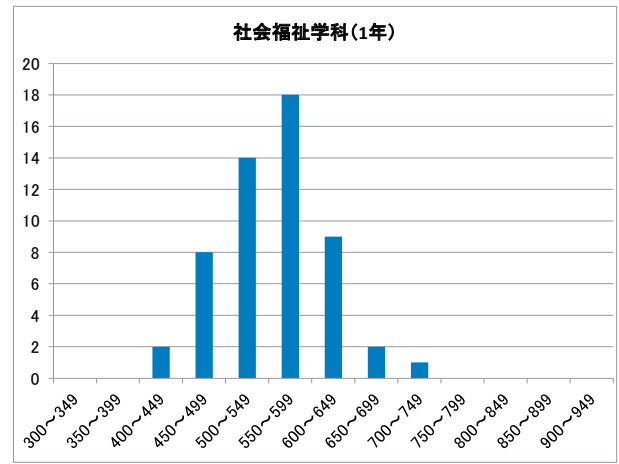
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 情報科学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 88名 |
| 平均点 | 506.6点 |
| 最高点 | 646点 |



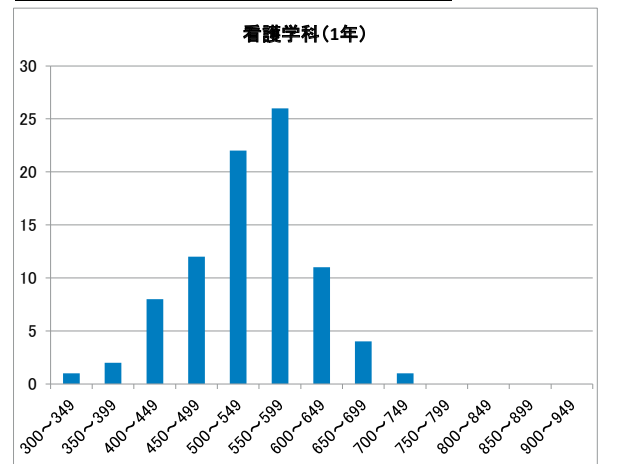
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 歴史文化学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 53名 |
| 平均点 | 571.7点 |
| 最高点 | 736点 |



| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 社会福祉学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 54名 |
| 平均点 | 559.6点 |
| 最高点 | 717点 |



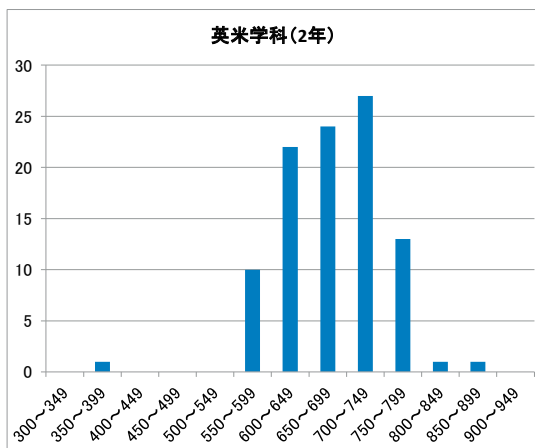
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 看護学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 87名 |
| 平均点 | 537.5点 |
| 最高点 | 702点 |



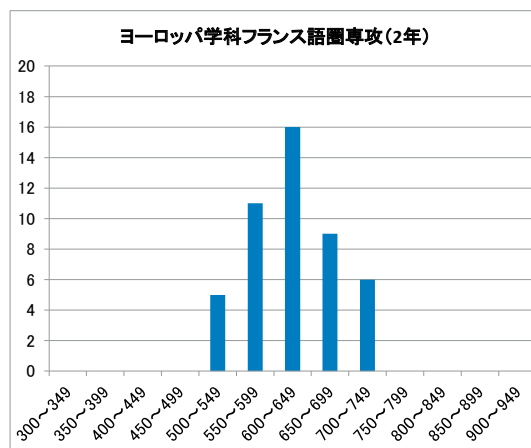
〔資料2〕 平成 27 年 1 月 2 年生英語統一テスト 結果

■愛知県立大学 2015 年 1 月実施（2 年生）

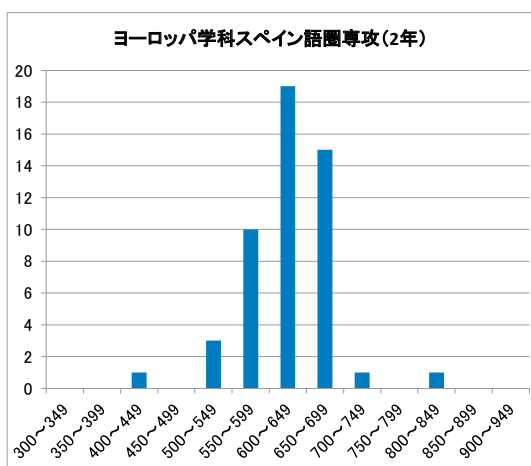
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 英米学科 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 99名 |
| 平均点 | 683.3点 |
| 最高点 | 878点 |



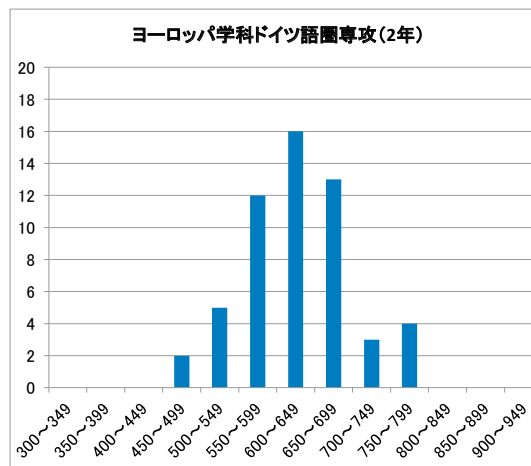
| | |
|-------|-----------------|
| 受験対象者 | ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 47名 |
| 平均点 | 622.1点 |
| 最高点 | 734点 |



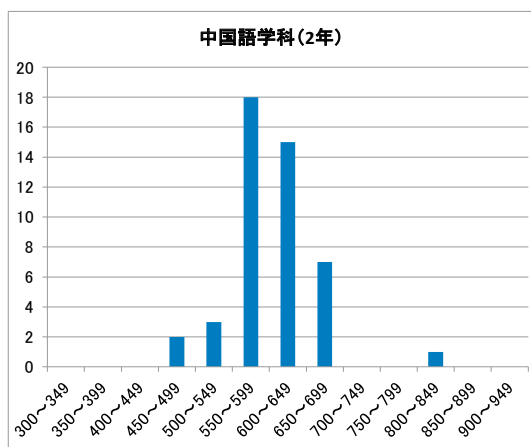
| | |
|-------|-----------------|
| 受験対象者 | ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 50名 |
| 平均点 | 626.0点 |
| 最高点 | 819点 |



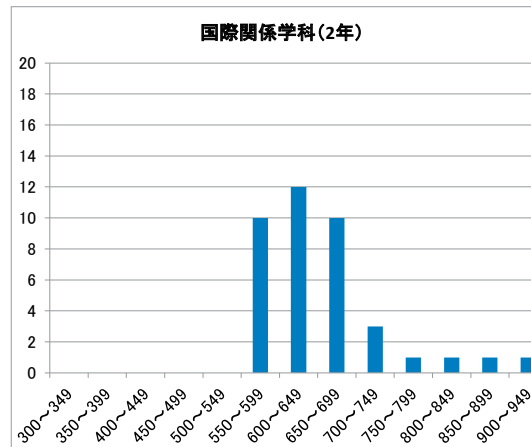
| | |
|-------|----------------|
| 受験対象者 | ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 55名 |
| 平均点 | 628.7点 |
| 最高点 | 796点 |



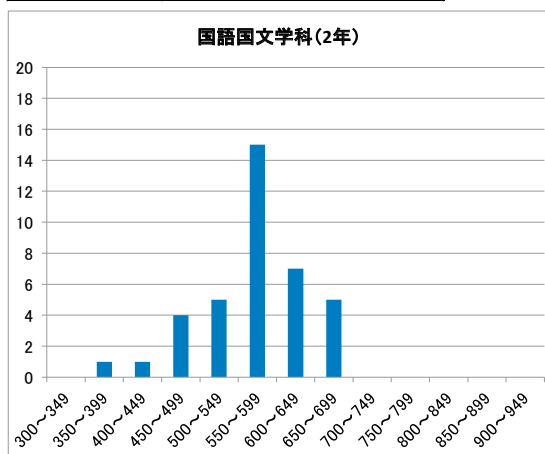
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 中国学科 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 46名 |
| 平均点 | 602.6点 |
| 最高点 | 828点 |



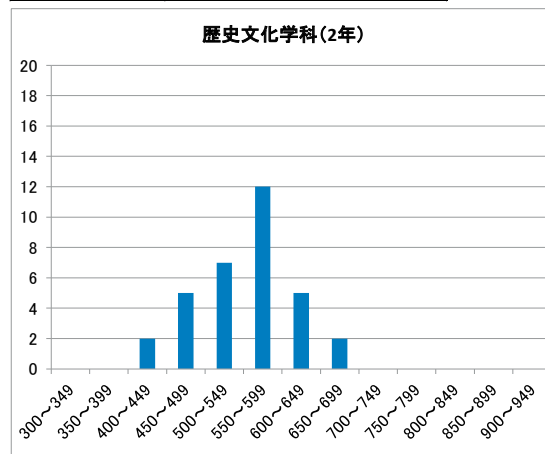
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 国際関係学科 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 39名 |
| 平均点 | 651.7点 |
| 最高点 | 928点 |



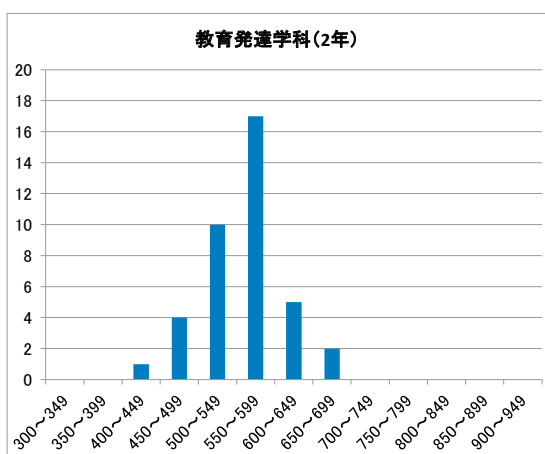
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 国語国文学科 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 38名 |
| 平均点 | 570.1点 |
| 最高点 | 691点 |



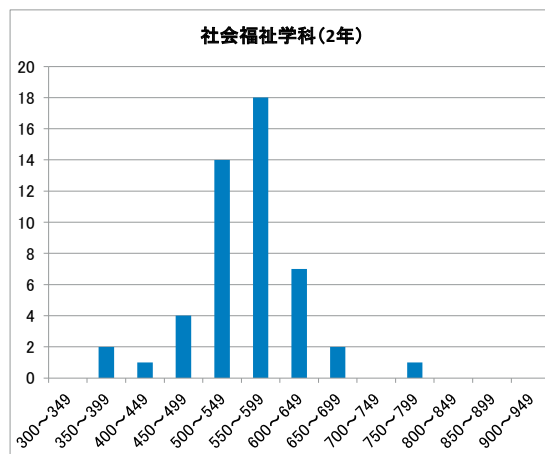
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 歴史文化学科 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 33名 |
| 平均点 | 550.2点 |
| 最高点 | 672点 |



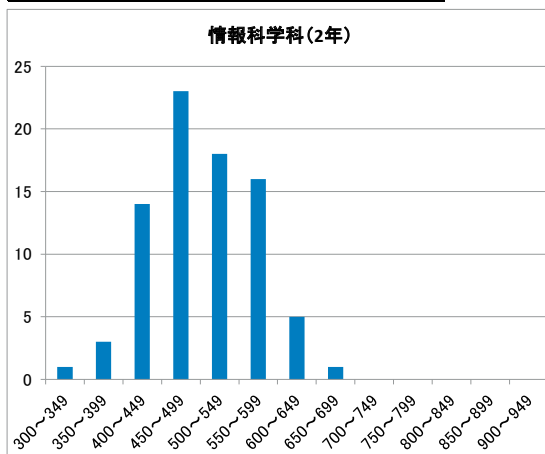
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 教育発達学科 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 39名 |
| 平均点 | 560.5点 |
| 最高点 | 683点 |



| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 社会福祉学科 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 49名 |
| 平均点 | 555.8点 |
| 最高点 | 751点 |



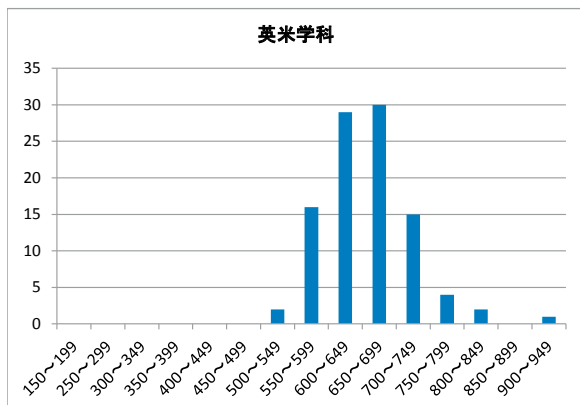
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 情報科学科 |
| 学年 | 2年 |
| 受験者総数 | 81名 |
| 平均点 | 502.6点 |
| 最高点 | 670点 |



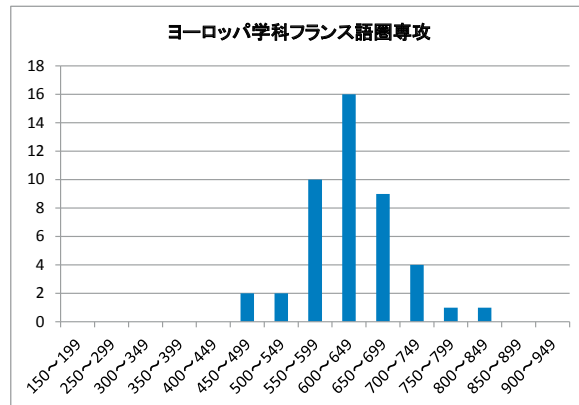
〔資料3〕 平成27年4月1年生英語統一テスト 結果

■愛知県立大学 2015年4月実施（1年生）

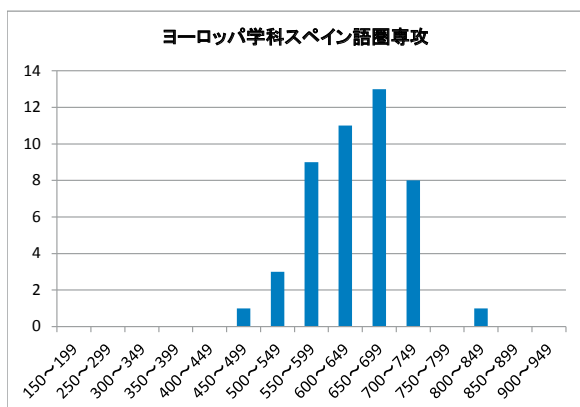
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 英米学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 99名 |
| 平均点 | 657.2点 |
| 最高点 | 937点 |



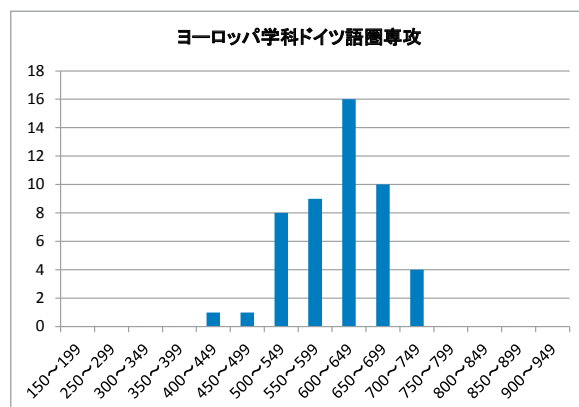
| | |
|-------|-----------------|
| 受験対象者 | ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 45名 |
| 平均点 | 629.2点 |
| 最高点 | 811点 |



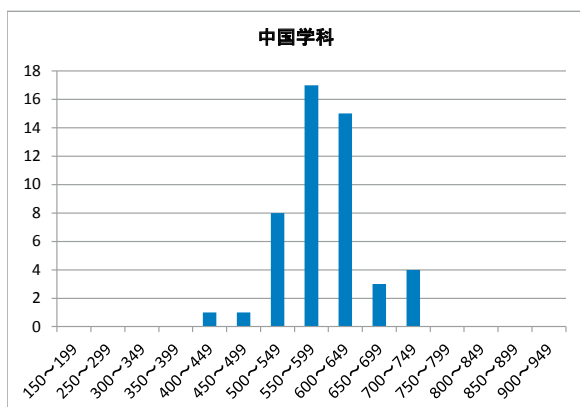
| | |
|-------|-----------------|
| 受験対象者 | ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 46名 |
| 平均点 | 644.7点 |
| 最高点 | 817点 |



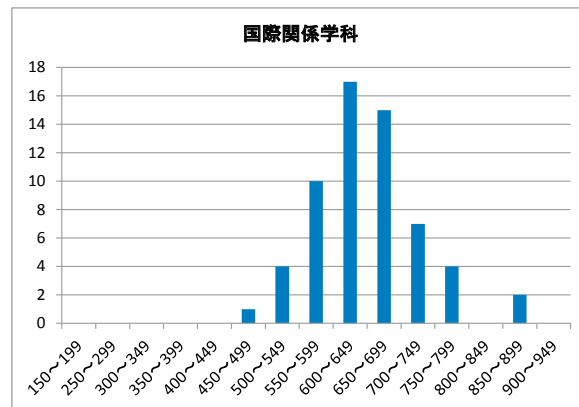
| | |
|-------|----------------|
| 受験対象者 | ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 49名 |
| 平均点 | 609.3点 |
| 最高点 | 741点 |



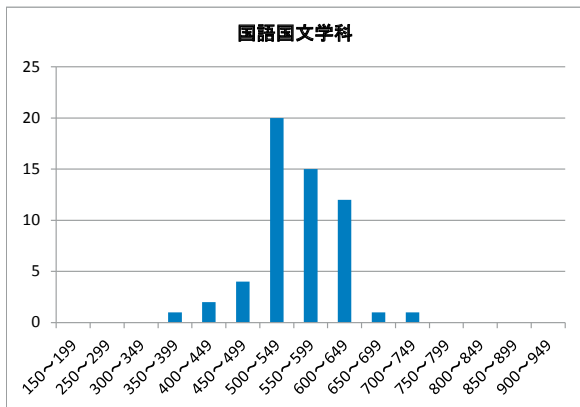
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 中国学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 49名 |
| 平均点 | 595.7点 |
| 最高点 | 744点 |



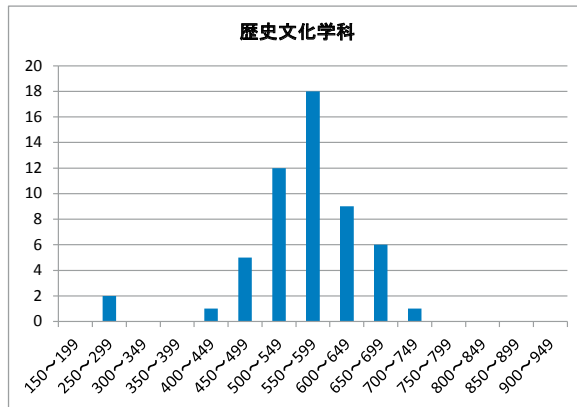
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 国際関係学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 60名 |
| 平均点 | 646.3点 |
| 最高点 | 860点 |



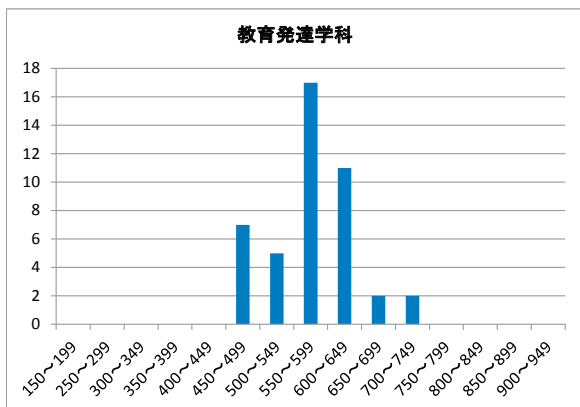
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 国語国文学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 56名 |
| 平均点 | 555.8点 |
| 最高点 | 703点 |



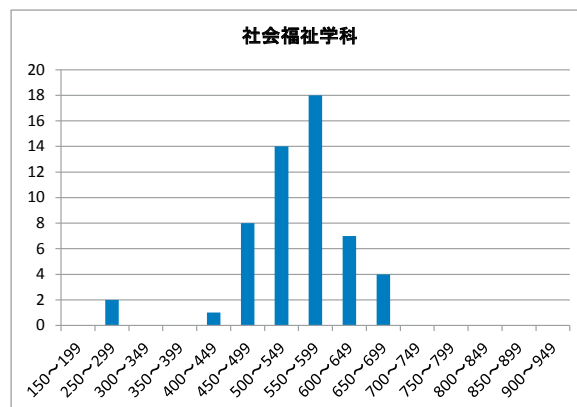
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 歴史文化学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 54名 |
| 平均点 | 562.3点 |
| 最高点 | 714点 |



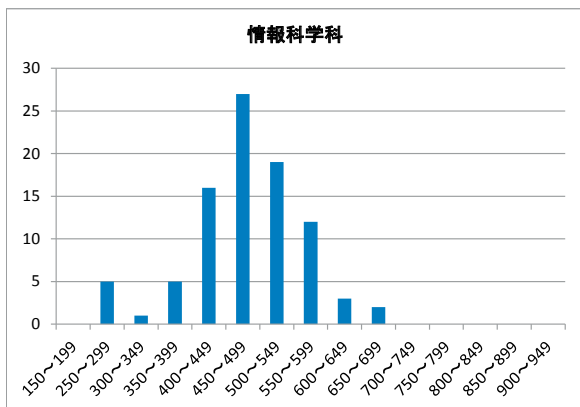
| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 教育発達学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 44名 |
| 平均点 | 575.9点 |
| 最高点 | 730点 |



| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 社会福祉学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 54名 |
| 平均点 | 546.0点 |
| 最高点 | 676点 |



| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 情報科学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 90名 |
| 平均点 | 479.4点 |
| 最高点 | 658点 |



| | |
|-------|--------|
| 受験対象者 | 看護学科 |
| 学年 | 1年 |
| 受験者総数 | 89名 |
| 平均点 | 529.8点 |
| 最高点 | 717点 |

